



にゅーすれたーふじやま・長泉

富士市天然記念物指定 “サワトラノオ”

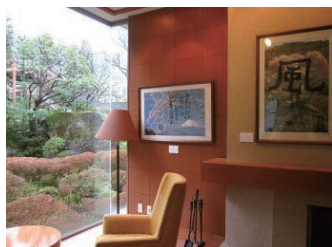


2015. 4

パナソニックエイジフリー介護チェーン

ここ何年は風邪も引かず、健康には自信があったのですが、3月上旬から4月にかけて体調を崩してしまいました。胃腸炎でした。忙しさのあまり、使わなくてもよい神経を使っていたことは自覚していました。自分が理解して行動するのは苦とも思わないのですが、自信がなくて臨んだことが多かったため、辛い日々が続きました。体調が崩れたことに気象の変化も大きく影響したと思います。

22日の日曜日、箱根小涌園で友人の小口昭宣さんと緒形幹太さんのコラボ展“書と写真の出会い『尊縁』”が開催されたので鑑賞してきました。日曜日だったこともあり、子供連れや、ケーキバイキングのお客様で大変にぎわっていました。おかげで芸術をゆっくり鑑賞するわけにはいきませんでした。後日、再び訪れました。その日はお客様も少なく、私と同年配ぐらいのご夫婦がいらしただけでした。やはり芸術鑑賞は静かな環境のなかでするものだと思います。写真撮影をお願いしたのがきっかけで作品のことを聞かれ、自分の知る限りご紹介させていただきました。ご夫妻は鎌倉の方でお仕事もリタイヤされて悠々自適の生活だそうで「今日は小涌園ホテルが温泉に入ってランチが半額なのでそれを目当てでやってきました。年金生活だからね」と笑いながらおっしゃっていました。今の私には、あまり羨ましい気持ちにはなれませんでした。



富士市のサワトラノオの群生地として知られる『浮島ヶ原自然公園』をご存知でしょうか？私は二度ほど見学したことがあります。このほどサワトラノオの群生地として富士市天然記念物に指定されたことが地元の新聞に載っていました。『浮島ヶ原自然公園』は富士市中里にあり、41826㎡の広さがあります。サワトラノオの群生地として面指定することによって他の絶滅危惧種の保護や景観保全、高い管理水準による維持に結び付けることを考えているようです。サワトラノオは湿地帯に生える多年草で、環境省と県のレッドリストでは近い将来、野生での絶滅の危険性が高いとされる「絶滅危惧 IB 類」にランクされています。園内にはアシ、サワトラノオをはじめヒキノカサ、ノウルシ等の絶滅が危惧されている湿性植物が10種類ほど確認されています。30年ほど前から調査が始まり、現在ではサワトラノオの生態などに関しては「富士市みどりの課」「常葉大学社会環境学部」「富士自然観察の会」が協働で管理が行われています。身近なところに貴重な植物がありますのでぜひ一度足を運んでいただきたいと思います。

渡邊啓視

